



# 就任ごあいさつ

福岡市保健福祉局障がい者部  
障がい者支援課長

奥田一成

平素より福岡市の障がい保健福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

福岡市では、障がいのある方はじめ、誰もが住み慣れた家庭や地域で安心して暮らし続けることのできる「健康福祉のまちづくり」を進めており、また、人生100年時代を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく生きていける持続可能な健寿社会の実現を目指すプロジェクト「福岡100」を、産学官民「オール福岡」で推進しております。

取り組んでおります。今年度に策定を予定している「次期福岡市保健福祉総合計画」及び「第6期福岡市障がい福祉計画」に基づき、障がい福祉施策をより一層推進してまいります。

みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市福岡」の実現に向け、今後とも、障がいの有無にかかわらず、福岡市がすべての人にとって暮らしやすいまちとなるよう取り組んでまいりますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、「福岡市障がい者差別解消条例」につきましては、その趣旨を踏まえ、障がい者との交流を通じた相互理解が深まるような施策を実施するとともに、不当な差別的取扱いや合理的配慮の考え方が広く市民や事業者の皆様浸透するよう、新たに啓発動画を作成するなどの啓発活動に取り組んでまいります。また、障がいを理由とする差別に関する相談については「身近さ」と「専門性」が両立する相談体制を整備しております。引き続き、障がいの有無に関わらず、すべての人が個人として尊重される社会の実現を目指してまいります。

また、「福岡市障がい者差別解消条例」につきましては、その趣旨を踏まえ、障がい者との交流を通じた相互理解が深まるような施策を実施するとともに、不当な差別的取扱いや合理的配慮の考え方が広く市民や事業者の皆様浸透するよう、新たに啓発動画を作成するなどの啓発活動に取り組んでまいります。また、障がいを理由とする差別に関する相談については「身近さ」と「専門性」が両立する相談体制を整備しております。引き続き、障がいの有無に関わらず、すべての人が個人として尊重される社会の実現を目指してまいります。

障がい福祉施策の推進にあたりましては、高齢障がい者及び「親なき後」の地域での生活を見据えた総合的な支援など、「障がいのある人が必要な支援を受けながら、自らの能力を最大限発揮し、地域や家庭でいきいきと生活することのできるまちづくり」を目指して

また、「福岡市障がい者差別解消条例」につきましては、その趣旨を踏まえ、障がい者との交流を通じた相互理解が深まるような施策を実施するとともに、不当な差別的取扱いや合理的配慮の考え方が広く市民や事業者の皆様浸透するよう、新たに啓発動画を作成するなどの啓発活動に取り組んでまいります。また、障がいを理由とする差別に関する相談については「身近さ」と「専門性」が両立する相談体制を整備しております。引き続き、障がいの有無に関わらず、すべての人が個人として尊重される社会の実現を目指してまいります。



令和3年度 福岡市の障がい福祉関係予算について

福岡市の令和3年度の一般会計の予算は、過去最大となる1兆545億円、厳しい経済状況に対応するため、過去最大規模の商工金融資金の融資枠や近年最大規模の公共事業費を確保しています。

一方、市税収入は、厳しい経済状況の影響等により231億円減収と昨年度を大幅に下回っているため、徹底した事業の選択と歳入の確保等に取り組み、新型コロナウイルス感染症への対応を図りながら、真に必要な施策・事業を積極的に推進していきます。

福岡市はこれからも、未来を担う子どもたちをはじめ、高齢の方や障がいのある方など、あらゆる人がその能力を存分に発揮でき、地域経済が力強く発展するような持続可能なまちづくりに向けて、「とりもどせ元氣」をテーマに、今だからこそできる様々なチャレンジに取り組んでいきます。

福岡市の予算のうち、保健福祉局の一般会計の予算は、2,224億円で、前年度と比較して1.8パーセントの増、障がい保健福祉費は、499億円で、前年度に比べ14億円、3.0パーセントの増となっており、障

がい福祉サービスの利用者の増加に加え、各種新規・拡充事業に対応した予算となっております。

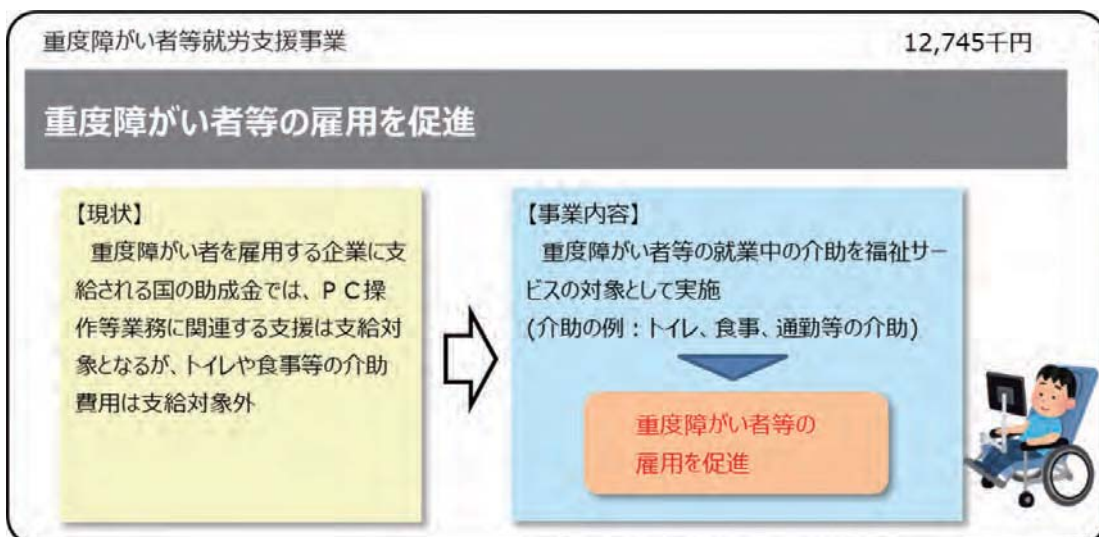
令和3年度の福岡市の障がい福祉施策におきましては、障がいのある方が自らの能力を最大限に発揮し、地域や家庭でいきいきと暮らせる社会をめざし、重度障がい者の方への支援として、就労支援、入浴サービスの拡充、グループホームの受入れ促進などを進めるほか、発達障がい者支援・障がい者就労支援センターの整備など、社会参加と障がいのある方の「親なき後」も見据えた地域生活の総合的な支援に取り組んでまいります。

令和3年度予算に計上した新規・拡充事業の主な施策は次のとおりです。



1 重度障がい者等の雇用促進

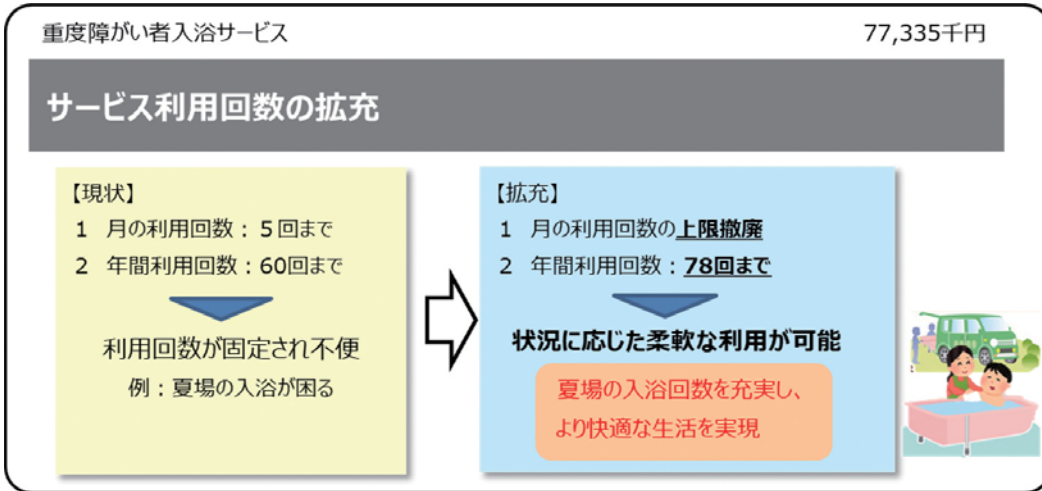
これまで国の助成金の対象外であった通勤や職場等における支援(トイレや食事等の介助)について、新たに福祉サービスを利用できるようにすることで、重度障がい者の方などの雇用促進を図ります。





## 2 重度障がい者入浴サービス

家庭での入浴が困難な重度身体障がい者の方への移動入浴車の派遣について、月の利用回数の上限撤廃や、年間の利用回数を拡充して、状況に応じて柔軟にサービスを利用できるようにすることで、重度障がい者の方の健康維持と保健衛生の向上を図ります。



## 3 視覚・聴覚障がい者への情報提供についての調査検討

視覚や聴覚に障がいのある方への効果的な情報提供方法について、先進的な取り組みを行っている自治体等への調査や現状課題の整理などを行い、視覚や聴覚に障がいのある方が情報を取得しやすい効果的な施策の実施につなげてまいります。

## 4 差別解消のための取組みの推進

「福岡市障がい者差別解消条例」の趣旨を踏まえ、市民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けて、差別の解消を推進します。また、条例の「不当な差別的取扱い」や「合理的配慮の提供」などの考え方を周知するための啓発動画を障がい者団体とともに作成し、障がいを理由とした差別の解消や理解促進に向けた取組みをさらに推進してまいります。



その他、今年度も引き続き、障がい者施設の工賃向上支援施策などの重点事業をはじめ、各種障がい福祉サービス、地域生活支援事業等の充実に努めてまいります。